

IV-246

陰影の固有性に関する研究（4）

－西欧の現代詩に現れる陰影－

京都大学工学部 学生員 ○荒川 英司
 淡青社 正 員 梶谷 拓生
 京都大学大学院 正 員 川崎 雅史
 京都大学大学院 正 員 佐佐木 綱

1. 研究の目的

西欧の現代詩における陰影表現を抽出し、その構成要素、季節・時間および基本タイプの表現頻度を分析することによって、本研究は、街並みや気候風土から生まれる陰影の固有性を把握することを目的とする。

2. 現代詩の分析対象と分析手順

（1）分析対象の選定

現代詩は、代表的詩人の成果を集約した集英社編「20世紀の文学 世界文学全集35 現代詩集」および新潮社編「世界詩人全集2 現代詩集IV」を用い、35人の作者による326篇の作品を分析対象とした。

（2）分析手順

- STEP1 対象作品すべてに関して、陰影表現のある箇所を抽出する。
- STEP2 陰影の基本構成である被写体、スクリーン、季節・時間に該当する表現がみられるもの、特定できるものについて頻度を整理する。
- STEP3 陰影の基本タイプ（光どり、影どり、陰、鏡映り）を特定し、頻度を整理する。

3. 分析結果 －陰影の基本構成－

（1）陰影表現の出現割合（表1参照）

全対象作品における陰影表現の出現割合は全体として17%であった。北欧（14%）と南欧（2%）を比較してその日照の強さに応じた陰影表現の出現割合の変化が指摘できる。

（2）基本タイプの出現割合（表2参照）

西欧の陰影では「影どり」が特に高く出現した。これは、陰影の被写体には、石を素材にした建築物が多くみられ、直線的な輪郭線を持つ影どりが形成されやすいことに起因するものと考えられる。

表2 基本タイプの出現割合

	%
影どり	36/67 (54)
光どり	4/67 (6)
陰	13/67 (19)
鏡映り	14/67 (21)

（3）季節・時間（表3参照）

「夏」と「昼」の表現頻度が高い傾向にある。夏の昼間の強い日照は、乾燥した空気を通り、輪郭線の明瞭な陰影を出現させる。西欧の街並み建築における壁による外部空間の分節および外部装飾を特化させる西欧の美意識が陰影の固有性を形成させると考えられる。

表3 季節・時間の割合

	%		%
春	2/54 (4)	夕	7/54 (13)
夏	5/54 (9)	夜	17/54 (31)
秋	3/54 (6)	昼	15/54 (28)
冬	1/54 (2)	朝	4/54 (7)
不詳	43/54 (79)	不詳	11/54 (21)

表1 現代詩における陰影表現の割合

	%		%
イタリア	6/33 (18)	フランス	7/39 (18)
スペイン	8/49 (27)	デンマーク	3/12 (25)
ギリシア	6/33 (18)	ノルウェー	2/5 (40)
		スウェーデン	4/30 (13)
		ドイツ	4/42 (10)
		イギリス	7/55 (13)
		オランダ	0/8 (0)
南欧	27/135 (20)	北欧	27/191 (14)
全体	54/326 (17)		

(4) 被写体とスクリーン

表4、5をみると、地形・植物の自然系の景観要素の頻度が、非常に高いことがわかる。また、スクリーンと比較して、被写体では人工系の要素の割合が高くなっている。特に人が被写体になることが多く、日常における昼間の人の活動場所に陰影が現れると推測できる。

①被写体の特徴（表4参照）

i) 自然系被写体の特徴

西欧の固有な被写体をあげると、1.牧草群の植物 2.自然地形の石・岩 3.空と海となる。被写体を構成する要素は、地形・気象・植物・動物と多様であるが、植物の割合が非常に高くなっており、草木は群として表現されている。和辻が牧場の風土と命名したように、西欧の年降雨量は日本の約3分の1程度であり、植物の生育が少なく、整然としたまとまった牧草地の風景を陰影が表現している。また、自然地形の中の石と岩の被写体については雑草の生育の少ない岩肌の露呈した地形が要因であると考えられる。

ii) 人工系被写体の特徴

人工系被写体については、人間が被写体となっている割合が高いこと、架線・旗など風によって目まぐるしく動くアクティブな被写体など日常的な活動場所に陰影が現れる。さらに「城砦」、「尖塔」など生活の中心となるシンボリックな建築物が被写体になっているのが特徴である。

②スクリーンの特徴（表5参照）

i) 自然系スクリーンの特徴

西欧の陰影は、道・地面といった比較的小規模なスクリーンに影が映し出される割合が多く、ほとんどが影どりとして明瞭な輪郭線を出現させている。また、水面への鏡映りが多いのが特徴的である。西欧では切り立った崖と海、山と海の対比が明確であること、さらにそれを映す光の固有性に起因していると思われる。

ii) 人工系スクリーンの特徴

人工系スクリーンは、身近な生活用品（グラス、テーブルなど）と、床・柱・教会・砦など移動の不可能な固定型のスクリーンが該当しているのが特徴

的である。

表4 現代詩に現れる陰影の被写体

		(全体)		%	%
自然系	地形	海、空(2)、山、岩(3)、断崖、石	9/67 (13)		
	気象	夕日、雲(2)、浪、水	5/67 (7)		
	植物	草(6)、茂み、垣根、木(12)、葉群(3)	23/67 (34)		
	動物	ひばり、熊、牛	3/67 (4)		40/67 (60)
人工系	建物	店、家、城砦、尖塔、格子扉、戸	6/67 (9)		
	人間	人(10)、傷口、ジブシー、舌、手(2)	15/67 (22)		
	その他	架線、垂れ幕、帆布、灯火(2)、旗、家具	7/67 (10)		28/67 (42)

(南欧)

自然系	地形	岩(3)、海、空、断崖、山	7/34 (21)		
	気象	夕日、浪、雲	3/34 (9)		
	植物	草(4)、木(6)、茂み	11/34 (32)		
	動物	ひばり、熊	2/34 (6)		23/34 (68)
人工系	建物	店、家、城砦	3/34 (9)		
	人間	人(5)、手(2)、傷口、ジブシー	9/34 (26)		
	その他	架線、垂れ幕、家具	3/34 (9)		15/34 (44)

(北欧)

自然系	地形	石、空	2/33 (6)		
	気象	水、雲	2/33 (6)		
	植物	木(6)、葉群(3)、垣根、草(3)	13/33 (39)		
	動物	牛	1/33 (3)		18/33 (54)
人工系	建物	尖塔、格子扉、戸	3/33 (9)		
	人間	人(5)、舌	6/33 (18)		
	その他	帆布、灯火(2)、旗	4/33 (12)		13/33 (38)

表5 現代詩に現れる陰影のスクリーン

		(全体)		%	%
自然系	地形	丘、アスファルト、岩棚、道(5)、地面(9)、雲、町、洞穴(2)、石畳、谷、天底、川底(2)、岸、空、堤	29/67 (43)		
	水面	川面(4)、水面(4)、海面(5)	13/67 (19)		
	植物	草(4)、農場	5/67 (7)		47/67 (70)
人工系	生活	くびき、床(2)、テーブル、瓶、グラス、支柱	11/67 (16)		
	人	トタン、砦、ガラス、教会、眼、体、髪、心、人	5/67 (7)		16/67 (24)

(南欧)

自然系	地形	丘、アスファルト、地面(4)、洞穴(2)、川底(2)、堤、道(4)、空、石畳	17/34 (50)		
	水面	海面(4)、川面、水面(2)	7/34 (21)		
	植物	草(2)	2/34 (6)		26/34 (76)
人工系	生活	くびき、ガラス、床	3/34 (9)		
	人	眼、体、心	3/34 (9)		6/34 (18)

(北欧)

自然系	地形	岩棚、谷、地面(5)、天底、雪、町、道、岸	12/33 (36)		
	水面	海面、水面(2)、川面(3)	6/33 (18)		
	植物	草(2)、農場	3/33 (9)		21/33 (64)
人工系	生活	砦、テーブル、瓶、グラス、支柱、トタン、床	8/33 (24)		
	人	教会、人、髪	2/33 (6)		10/33 (30)

<参考文献>

川崎雅史・堀秀行；陰影景観の固有性に関する研究—景観表現に現れる日本の陰影空間—、土木計画学研究・講演集No. 13, pp. 81-88, 1990.